

< 国際会議報告 >

ワークショップ「革新的原子力システムに関するアジア・ネットワーク」
(兼「第 5 回アジア ADS ワークショップ」) に出席して

京都大学大学院 エネルギー科学研究科
修士課程 2 回生 八木貴宏

この度、「Asian Network on Innovative Nuclear Systems embedding 5th Workshop of Asian ADS Network, November 1-2 2007」に参加致しました。このワークショップは、昨年度は京都大学原子炉実験所で開催され、今年は韓国で開催されました。今年のワークショップの主な内容は、加速器駆動未臨界炉 (ADS) に加えて高速炉も含まれることから、参加を致しました。このワークショップの発表は、韓国、中国の方も出席することから英語で行ないます。私は、今まで国内での発表を行なっていたものの、英語での発表経験がなく、不安でした。しかしながら、先生方や研究室の学生の助けのもと、発表資料・原稿をなんとか作成することができました。その結果、発表は無事に終えることができ、質疑応答に関しても、参加者や先生方の助けを借りながら無事に終えることができました。発表資料は、先生が過去に発表した資料を参考にし、英語の発音・アクセントは、研究室の留学生に確認したことが、功を奏しました。しかし、この発表を通して、私が勉強不足であること、英語での議論の大切さを実感致しました。

参加者の発表は、主に、中国の方は ADS、韓国の方は高速炉に関するものでした。私の勉強不足のため、詳細な内容まで議論できなかったことが残念でした。学生の参加者は、私を含めて 3 人の日本人で、それぞれの専門は異なりますが、彼らの発表を聞いていて参考になる所が多々あり、今後の励みになりました。また、夜には宴会があり、そこでの交流も楽しいものでした。この時に、2007 年京都大学臨界集合体実験装置 (KUCA) の実験に参加した韓国の学生にも会うことができ、なかなか楽しく過ごすことができました。また、韓国や中国からの参加者と普段の生活や仕事に関する様々な話しをできたこと、食事や交流を通して韓国の文化に触れることができたことも、良い経験になりました。

以上、ワークショップに参加して、修士課程の間に英語での発表、海外の文化に触れられる機会を得たことがとても良い経験になりました。今後、私は博士課程に進学を致しますが、この時の経験が役に立つと思います。

最後に、ワークショップを開催して頂いた韓国の先生方、学生の方々、ワークショップに参加された方々、発表をサポートして下さいました先生方、学生の方々に感謝致します。ありがとうございました。